

お鍬山 植物たより (H26. 6. 15)

西山橋から西山橋西交差点に向かうとお鍬山の市道沿いに黄色花のキンシバイの群生を見る事ができます。法面緑化で植栽をされたものと思います。その市道沿いには淡紫色の筒型の小さな花が集まったムラサキシキブも咲いています。ムラサキシキブは遊歩道沿いの各所にも見る事ができます。多くは幼木でまだ花を咲かせていません。良く似たヤブムラ



キンシバイ

サキは葉がビロードのように手に触れるとふわふわして気持ちがよく、自然観察会で案内する定番の植物ですが、お鍬山ではまだ見つけていません。

遊歩道沿いにはネズミモチも白い花を多数つけて咲いています。生垣で見かけるのとは比べ、お鍬山のコナラ等の大木に囲まれた中で咲いているからか同じ花でもどこか趣きが違って見えます。遊歩道沿いにはサカキもよく見かけます。神事で使われるために知っている人も多いと思いますが、下向きに咲かせている小さな白い花を見た人は少ないのではないのでしょうか。



ムラサキシキブ



ネズミモチ



サキ

お鍬山は樹木ばかりではありません。野草も見ることができます。特に、南北の谷筋には多くの野草が自生しています。ただ、野草は10~30cmの丈のものが大部分のため、花が咲かないと分かりません。



コモチマンネゲサ



トバナ

南の谷筋、上流の堰堤近くに、淡紅紫色の小さな花を塔のように数段輪生するトウバナや葉の腋に小さなムカゴをつけた黄色の花のコモチマンネグサを見る事ができます。農道でも見かけます。お鍬山が里山だからということなのでしょう。